

令和8年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	①食料品の物価高騰に対する特別加算	物価高騰対応里庄町地域くらし応援券事業	<p>①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、町内の店舗・事業所で使用可能な「地域くらし応援券」を、1人1万円全町民に支給する。</p> <p>②地域くらし応援券事業(111,228千円) 需用費1,450千円(応援券印刷、ポスター・のぼり旗作成、封筒作成) 役務費2,308千円(郵送料、換金費用振込手数料) 委託料170千円(対象者抽出・宛名データ作成) 償還金107,300千円(地域くらし応援券換金費用)</p> <p>③基準日(令和8年6月1日)時点で住民基本台帳に登録されている町民 対象者数(見込)10,730人×10,000円=107,300千円</p> <p>④令和8年6月1日時点における住民基本台帳に記載されている全町民</p>	R8.4	R9.2
2	①食料品の物価高騰に対する特別加算	学校等給食費臨時補助事業	<p>①エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、町内の幼稚園・中学校に通う児童・生徒がいる子育て世帯の経済的負担を軽減するため、物価高騰に伴う給食費の増額分を補助し、また、学校給食費の抜本的な負担軽減による国の基準額を超える部分(保護者負担)について、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、当該基準額を超える部分を補助する。</p> <p>②町内の幼稚園・中学校に通う児童・生徒がいる子育て世帯の給食費負担金の物価高騰による増額分に対する補助金及び学校給食費の抜本的な負担軽減による国の基準額を超える部分に対する補助金(増額分・差額分×在籍する児童・生徒の人数×給食数で計算する。教職員分は含まない。)</p> <p>③学校等給食費補助金 17,950千円 幼稚園@60円/食×児童50人×給食数150食 中学校@90円/食×生徒330人×給食数200食 小学校@84円/食×児童600人×給食数200食 5/1以降転入分:小学校@370円/食×25人×給食数160食見込</p> <p>④町内の幼稚園・小・中学校に通う児童・生徒がいる子育て世帯</p>	R8.4	R9.3
3	②物価高騰に伴う低所得者世帯・高齢者世帯支援	物価高騰対応高齢者タクシー料金助成事業	<p>①エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、高齢者の外出機会の確保、移動負担の軽減、町内の公共交通であるタクシーの利用促進を図るため、町内に居住する75歳以上の高齢者に対し、タクシーチケットを交付する。</p> <p>②タクシーチケットの印刷経費、郵送経費、利用料補助</p> <p>③消耗品費 108千円 郵送料 234千円 高齢者タクシー料金助成事業補助金 12,390千円 (@30千円×申請590人×使用率70%) 事業費全体のうち、5,369千円に交付金を充当する。</p> <p>④町内に居住する75歳以上の高齢者</p>	R8.4	R9.3